

嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議する意見書

米軍は嘉手納基地内において、令和2年7月9日午後3時50分頃から8時頃にかけて、5回にわたり延べ21人の兵士がパラシュート降下訓練を強行した。一歩間違えれば重大な事故につながりかねず、住民の平穏な暮らしを脅かすものであり、憤りを禁じ得ない。

パラシュート降下訓練は、平成8年の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告において伊江島補助飛行場での実施が合意されているにもかかわらず、合意以降の嘉手納基地での同訓練は14回を数え、去年は過去最高の年4回も実施されるなど常態化しつつある。本町をはじめ嘉手納飛行場に隣接する自治体及び沖縄県の強い中止要請を押し切り降下訓練を強行した米軍に対し、強い怒りをもって抗議する。

米軍は、嘉手納基地での実施理由について「伊江島が予想される悪天候により、パラシュート降下訓練に必要な救助ボートが使用できない状況であったことから、嘉手納で実施する必要があった」と説明し、また、訓練実施の翌日、防衛相は記者会見において「今回のパラシュート降下訓練は例外的に当たる」との認識を示したが、何故、今回の事情が例外的に当たるのか、その判断基準など詳細な説明もない中での訓練強行は到底容認できず、極めて遺憾である。

今後も「例外的措置」を盾に訓練が常態化すれば、平成18年度の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減に逆行し、基地機能強化に繋がることは明白である。日米両政府は、「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する判断基準等を明らかにし、速やかに公表することを強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」の判断基準を明らかにし、速やかに公表すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年7月14日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長
沖縄県知事

嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議する決議

米軍は嘉手納基地内において、令和2年7月9日午後3時50分頃から8時頃にかけて、5回にわたり延べ21人の兵士がパラシュート降下訓練を強行した。一歩間違えれば重大な事故につながりかねず、住民の平穏な暮らしを脅かすものであり、憤りを禁じ得ない。

パラシュート降下訓練は、平成8年の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告において伊江島補助飛行場での実施が合意されているにもかかわらず、合意以降の嘉手納基地での同訓練は14回を数え、去年は過去最高の年4回も実施されるなど常態化しつつある。本町をはじめ嘉手納飛行場に隣接する自治体及び沖縄県の強い中止要請を押し切り降下訓練を強行した米軍に対し、強い怒りをもって抗議する。

米軍は、嘉手納基地での実施理由について「伊江島が予想される悪天候により、パラシュート降下訓練に必要な救助ボートが使用できない状況であったことから、嘉手納で実施する必要があった」と説明し、また、訓練実施の翌日、防衛相は記者会見において「今回のパラシュート降下訓練は例外的に当たる」との認識を示したが、何故、今回の事情が例外的に当たるのか、その判断基準など詳細な説明もない中での訓練強行は到底容認できず、極めて遺憾である。

今後も「例外的措置」を盾に訓練が常態化すれば、平成18年度の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減に逆行し、基地機能強化に繋がることは明白である。日米両政府は、「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する判断基準等を明らかにし、速やかに公表することを強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」の判断基準を明らかにし、速やかに公表すること。

以上、決議する。

令和2年7月14日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長